

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 164-8701
 住 所 東京都中野区中野四丁目3番2号
 氏 名 株式会社 丸井
 代表取締役社長 青木 正久

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 丸井		
主たる事務所 又は事業所の所在地	213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3580 k l	
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数	台	
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	・丸井グループの地球温暖化対策の取組みについては、ホームページにてサステナビリティレポートを公表しています。 http://www.0101maruigroup.co.jp/sustainability/lib/s-report.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 7,556 t-CO ₂ (調) 7,351	(実) 7,414 t-CO ₂ (調) 7,210	(実) 6,984 t-CO ₂ (調) 6,783	(実) 5,035 t-CO ₂ (調) 4,827	(実) 7,329 t-CO ₂
削減率		(実) 1.9 % (調) 1.9 %	(実) 7.6 % (調) 7.7 %	(実) 33.4 % (調) 34.3 %	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎照明のLED化に続いて店装照明のLED化を進め、省エネに寄与した。 ・空調機の温度設定や、照明・ネオンサインの短時間化も継続して実施。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年1月に、川崎店が閉店したため、温室効果ガス排出量が大幅に削減した。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の継続的な省エネ活動(LED導入や空調機の温度設定、照明・ネオンサインの短時間化)に加えて川崎店の閉店により、継続目標削減率3.0%に対し、33.4%を達成。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー法に合わせて、前年度比▲1%を中長期的に継続する。
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<p>◎空調・照明設備、機器のハード・ソフト両面の効率化を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化空調設備の順次入替えを計画中 ・高効率照明器具へ順次変更、点灯・消灯時間の効率化を継続対応中
	第1年度	<p>①空調設備：老朽化した空調機の切替計画を策定した。</p> <p>②照明設備：LED化の予算編成・工事計画を策定した・</p> <p>③省エネ運用：売場照明の間引き、冷温水発生機の効率稼働、機器の間欠運転等を継続的に実施中</p>
	第2年度	<p>①空調設備：空調機のインバーター化の実施計画を策定、次年度より、工事スタート予定</p> <p>②省エネ運用：売場照明の間引き、冷温水発生機の効率稼働、機器の間欠運転等を継続的に実施中</p>
	第3年度	<p>①空調設備：空調機のインバーター化の実施計画を延期、導入時期は現在検討中</p> <p>②省エネ運用：売場照明の間引き、冷温水発生機の効率稼働、機器の間欠運転等を継続的に実施中</p>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

再生可能エネルギーは温室効果ガス排出量の削減に寄与するものであり、
 今後はグリーン電力証書の購入や再生可能エネルギー利用の検討を行っていきたい。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	■らくちんパンプスのカーボンフットプリント&オフセット ・丸井の自主ブランド「らくちんパンプス」のカーボンフットプリント実施。 同時にこのシューズをご購入いただいた際に、このシューズの生産過程等で発生するCO2排出量5000gのうち、生産地の環境保全活動団体にオフセットするキャンペーンを2015年から実施しています。
第1年度	*2016年に75トンオフセット
第2年度	*2017年に95トンオフセット
第3年度	*廃棄物管理の強化を実施、分別徹底や計量により、リサイクル率が向上

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	6,678	t-CO ₂
(調)	6,535	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
マルイファミリー溝口	神奈川県横浜市西区溝口1-4-1ノクテ12	5611	百貨店、総合スーパー	6,678 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--